

教科	科目	単位数	対象学年
社会	地理・歴史	4	2年

1. 学習の到達目標等

到達目標	広い視野に立って、社会に対する関心を高め、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察し、倭が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、公民としての基礎的教養を培い、国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。
目標を達成するための留意点	知識に偏りすぎた指導にならないように、基本的な事項・事柄を厳選して指導内容を構成していく。生徒の主体的な学習を促し、課題を解決する能力を一層培うため、各分野において、適切な課題を設けて行う学習の充実を図る。社会的事象の特色や事象間の関連を説明する学習を通して、言語活動の充実を図る。資料を選択し活用する学習活動を重視するとともに作業的、体験的な学習の充実を図る。その際、情報モラルの指導にも配慮する。教育基本法第14条及び第15条の規定に基づき、政治及び宗教に関する教育を行う。
使用教科書	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい社会 地理（東京書籍） ・新しい社会 歴史（東京書籍）
使用副教材	<ul style="list-style-type: none"> ・アクティブ地理総合（浜島書店） ・基礎をきづく地理② 東京書籍版（浜島書店） ・つながる歴史（浜島書店） ・基礎をきづく歴史②③ 東京書籍版（浜島書店）
評価基準	知識・理解／思考力・判断力・表現力／主体的に学習に取り組む態度 それぞれの項目に関して、授業・定期考査・課題等を通して総合的に評価する。
学習内容	<p>[地理] 第3編 日本のさまざまな地域</p> <p>第1章 地域調査の手法</p> <p>第2章 日本の地域的特色と地域区分</p> <p>第3章 日本の諸地域</p> <p>1節 九州地方 2節 中国・四国地方 3節 近畿地方 4節 中部地方</p> <p>5節 関東地方 6節 東北地方 7節 北海道地方</p> <p>第4章 地域の在り方</p> <p>[歴史] 第4章 近世の日本</p> <p>2節 江戸幕府の成立と鎖国 3節 産業の発達と幕府政治の動き</p> <p>第5章 開国と近代日本の歩み</p> <p>1節 欧米における近代化の進展 2節 欧米の進出と日本の開国</p> <p>3節 明治維新 4節 日清・日露戦争と近代産業</p> <p>第6章 二度の世界大戦と日本</p> <p>1節 第一次世界大戦と日本 2節 大正デモクラシーの時代</p> <p>3節 世界恐慌と日本の中国侵略 4節 第二次世界大戦と日本</p>

教科	科目	単位数	対象学年
理科	理科①	3	2年

1. 学習の到達目標等

到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 回路の基本的性質や、電圧と電流との関係について規則性を見出させる。 2. 静電気と電流には関係があることを見出させ、電流の正体について理解させる。 3. 電気の磁気作用や電流と磁界との相互作用を理解させる。 4. 電気分解の実験より、イオンの存在を知り、イオンの生成と原子の構成が関係することを理解する。 5. イオンのモデルを用いて電池の原理が説明できるようにする。 6. 酸やアルカリの特性が水素イオンと水酸化物イオンによることを知らせる。 7. 酸とアルカリが反応すると水と塩ができることを知るとともに、中和反応をイオンのモデルを使って説明できるようにする。 8. 太陽や月の観察や、惑星やその他の恒星などについての学びを通して、地球をとり巻く天体についての理解を深め、それぞれの天体の自転や公転などの運動について理解することにより、地球から見える天体の動きなどについての認識を深める。 9. 2力がつり合う条件を理解させる。作図によって合力を求めることができるようにする。また、分力の求め方を理解させる。 10. 物体の速さや運動の様子を調べる方法を身につけさせ、物体にはたらく力と運動の関係を理解させる。 11. 仕事の量の求め方を理解させ、仕事の原理を見出させる。 12. エネルギーの定義を理解させ、力学的エネルギー保存の法則を理解させる。
目標を達成するための留意点	知識獲得を最終目的とするのではなく、獲得した知識を活用し、考察することに意識を向けさせるように指導する。
使用教科書	「未来へひろがるサイエンス2」(啓林館) 「未来へひろがるサイエンス3」(啓林館)
使用副教材	「中学実力練成テキスト 2年」(文理) 「中学実力練成テキスト 3年」(文理)
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> * 関心・意欲・態度 * 科学的な思考・表現 * 観察・実験 * 知識・理解 <p>の4つの観点と定期考査，課題，授業への参加姿勢などを基に総合的に評価する</p>
学習内容	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 電流の性質とその利用 <ul style="list-style-type: none"> 第1章 電流の性質 第2章 電流の正体 第3章 電流と磁界 ◇ 化学変化とイオン <ul style="list-style-type: none"> 第1章 水溶液とイオン 第2章 酸・アルカリと塩

	<p>◇ 宇宙を観る</p> <p>第1章 地球から宇宙へ</p> <p>第2章 太陽と恒星の動き</p> <p>第3章 月と金星の動きと見え方</p> <p>◇ 運動とエネルギー</p> <p>第1章 力のつり合いと合成・分解</p> <p>第2章 力と物体の運動</p> <p>第3章 仕事とエネルギー</p> <p>第4章 いろいろなエネルギーとその移り変わり</p> <p>第5章 エネルギー資源とその利用</p>
--	---

2. 指導計画

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
電流とその利用	電流の性質												
	電流の正体												
	電流と磁界												
化学変化とイオン	水溶液とイオン			1学期 中間 テスト	1学期 期末 テスト				2学期 中間 テスト	2学期 期末 テスト			3学期 期末 テスト
	電池とイオン												
	酸・アルカリと塩												
宇宙を観る	地球から宇宙へ												
	太陽と恒星の動き												
	月と金星の動きと見え方												
運動とエネルギー	力の合成と分解												
	物体の運動												
	仕事とエネルギー												
	多様なエネルギーとその移り変わり												
	エネルギー資源とその利用												

教科	科目	単位数	対象学年
理科	理科②	1	2年

1. 学習の到達目標等

到達目標	観察、実験を行い、観察・実験技能を習得させ、観察、実験の結果を分析して解釈し表現する能力を育てるとともに、事物・現象に対する科学的な見方や考え方を養う。
目標を達成するための留意点	知識獲得を最終目的とするのではなく、獲得した知識を活用し、考察することに意識を向けさせるように指導する。
使用教科書	「未来へひろがるサイエンス2」(啓林館) 「未来へひろがるサイエンス3」(啓林館)
使用副教材	「中学実力練成テキスト理科 中2」(文理) 「中学実力練成テキスト理科 中3」(文理)
評価基準	行動観察、発言、発表、自己評価、マイノート、レポート、ワークシート・小テスト・定期テストなど
学習内容	<ul style="list-style-type: none"> ・天気の変化を考えるうえで重要な、水に関する実験や考察を通して、天気について考える基礎を身に付けさせるとともに、大気や天気の変化が日本の四季に与える影響を理解させ、気象についての認識を深める。 ・生物のふえ方に関する観察・実験・考察を通して、生物の成長や遺伝の規則性を理解し、生命の連続性についての認識を深める。 ・自然界の生物どうしのつながりや、物質の影響で環境が形成されていることを知り、発展しつつある科学技術や様々な物質の中でも、持続可能な社会を目指して社会に関わっていくための認識を深める。

2. 指導計画

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
地球の大気と天気の変化	地球をとり巻く大気の様子												
	大気中の水の変化												
	天気の変化と大気の動き			1	1				2	2			3
	大気の動きと日本の四季												
生命の連続性	生物のふえ方と成長												
	遺伝の規則性と遺伝子												
	生物の種類の多様性と進化												
自然と人間	自然界のつり合い												
	さまざまな物質の利用と人間												
	科学技術の発展												
	人間と環境												
	持続可能な社会をめざして												

